

低炭素社会先進都市及び国内火力最大級発電所視察

～平成 27 年 9 月 30 日（水）～

三重県商工会議所連合会は、平成 27 年 9 月 30 日（水）、低炭素社会先進都市（豊田市）及び国内火力最大級発電所（碧南市）へ県内商工会議所専務理事ら 17 名による視察を実施しました。

低炭素社会先進都市視察では、愛知県豊田市の暮らし・交通・産業など様々な分野の最先端技術と低炭素社会の体験が出来る「とよたエコフルタウン」を見学、豊田市の担当者より、豊田市が取り組むスマートシティ、環境モデル都市、環境モデル都市アクション、再生可能エネルギーセンター、低炭素社会への支援、燃料電池車Miraiの購入支援、環境減税の創設などの説明を受けた。

その後、「とよたエコフルタウン」にてスマートハウス、水素ステーション、Miraiなどを見学した。

最新エネルギー施設視察では、愛知県碧南市にある中部電力碧南火力発電所を見学、ナゴヤドーム 40 個分に相当する敷地(2,080,000 m²)に、発電所の主要設備であるボイラー、タービン、発電機に加え、貯炭場、廃捨地、環境設備等の石炭火力特有の施設が配置されており、1号機から5号機までの出力 4,100,000kw は、国内最大、世界でも最大級であると説明を受けた。

その後、中央制御室、タービン建屋を見学、貯炭場など周辺施設もバス内から見学した。



▲碧南火力発電所内で説明を受ける様子



▲碧南火力発電所中央制御室の様子



▲豊田市担当者からの説明の様子



▲水素充填中の燃料電池車「Mirai」